



～ベンチャー企業への支援を加速！～

「京都iCAP3号ファンド」へ出資！



京都銀行（頭取 安井 幹也）と京都キャピタルパートナーズ株式会社（代表取締役社長 山本 洋史）は、京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下、京都iCAP）が設立するファンド「イノベーション京都2026投資事業有限責任組合」へ出資いたしますのでお知らせいたします。

京都iCAPが運営するファンドは、京都大学および他の国立大学の研究成果を活用する未上場ベンチャー企業へ投資を行います。京都大学でのベンチャー企業創出のノウハウを他の国立大学へ展開し、地域性を生かしたユニークなベンチャー企業の創出に取り組みます。

京都銀行と京都キャピタルパートナーズは、京都大学との連携を強化し、大学発ベンチャーの育成・支援、地元企業との産学連携を推進し、地元経済のさらなる活性化と地方創生に貢献してまいります。

記

1. 出資ファンド概要

名 称	イノベーション京都2026投資事業有限責任組合 (略称：京都iCAP3号ファンド)
投資対象	京都大学および国立大学の研究成果を活用する未上場スタートアップ、それらの投資対象企業への投資を行うVCファンド
無限責任組合（GP）	京都大学イノベーションキャピタル
有限責任組合（LP）	京都銀行、京都キャピタルパートナーズ ほか金融機関・大手上市企業等
予定ファンド総額	200億円
設 立	2026年3月9日
存続期間	2040年12月31日（最大2年の延長可能性あり）

〈ご参考〉京都大学イノベーションキャピタル株式会社について

名 称	京都大学イノベーションキャピタル株式会社
所 在 地	京都市左京区吉田本町36-1
設 立	2014年12月
資 本 金	35百万円
代 表 者	代表取締役社長 楠美 公

以 上

京都フィナンシャルグループでは、「地域社会の繁栄に奉仕する～地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する～」という経営理念に基づいた企業活動を行っております。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践である SDGs 達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースに SDGs の目標のアイコンを明示しております。

